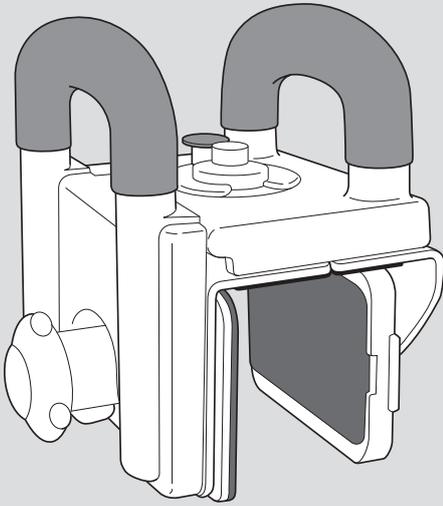


ツイン浴槽手すり 取扱説明書

最大使用者体重：80kg

このたびはツイン浴槽手すりをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。



保存版
(保証書付)

もくじ

必ずお読みください	安全上のご注意	1・2
	取り付け前のご確認	3・4
	各部のなまえ ■仕様 / 付属品 / 特長	5
取り付けかた	取り付けかた	6~8
使いかた	使いかた	9
	お手入れの方法 ■お掃除のしかた / 交換部品 / 点検のしかた	10・11
困ったとき	おかしいな?と思ったら	12
	保証とアフターサービス	13

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

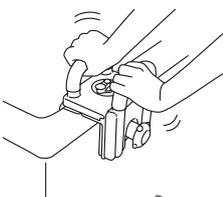
■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

-  **必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**   **してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

警告 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

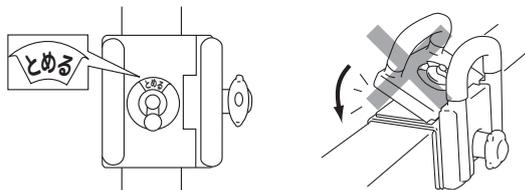
毎のご使用の前に、グリップを前後左右にゆらしてみ、浴槽にしっかり固定されているか必ず確認すること

しっかり固定されていないと、使用中に本品が外れ転倒の原因になります。



ガタついている場合は…10・11ページへ

ご使用の前に、必ず、ロックが「とめる」の位置で固定され、グリップ台が上に開かないことを確認すること



浴槽の外壁に段がついている場合は段差補正を行うこと

詳しくは…4ページへ

取り付けの条件は P.3 ~ 4 に従うこと

手すりが外れ、転倒やけがの原因になったり、浴槽が変形・破損する原因になります。

詳しくは…3 ~ 4ページへ

ハンドルが洗い場側に向くように取り付けること

取り付け方向が逆になると、しっかり固定できず転倒やけがの原因になります。



洗い場側

 **分解や改造をしないこと**
本品が正常にはたらかず、けがの原因となります。

体重が 80 kg を超える方は使用しないこと

本品が外れたり、破損しけがの原因になります。



子どもを遊ばせる等、浴槽手すり以外の用途で使わないこと

けがの原因になります。



浴槽手すりの取り付けは、力の弱い方が行わないこと

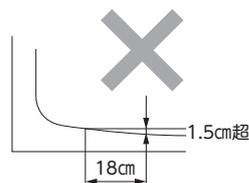
使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。

※取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け・取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

浴槽以外へは取り付けないこと

浴槽壁厚の差が約1.5 cm を超える場所には取り付けないこと

本品が浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。



安全上のご注意



注意

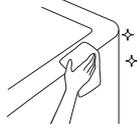
誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと



本品を取り付ける前に、浴槽の取り付け面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が付着していないかを確認すること

浴槽が汚れていると、使用中に本品が外れやすくなります。



浴槽手すりは、こまめに清掃すること

本体グリップや内グリップの滑り止め部分にカビやぬめりが発生し、滑り止めが効きにくくなる原因になります。



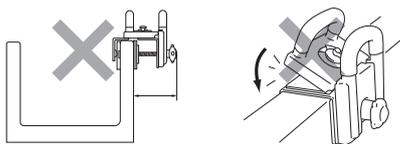
足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意すること

足に落とすとけがの原因になります。



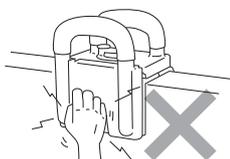
手すりを浴槽壁に取り付ける際のフレームの幅調節は、P.8 に従い、適切に行うこと

手すりが、洗い場側へ必要以上にでっぴったり固定ができないなどの不具合が生じることがあります。



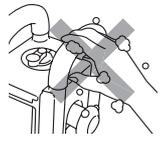
ハンドルを必要以上にしめつけないこと

浴槽が変形、または破損する原因になります。(タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。)



石けんや洗剤が付着した手で使用しないこと

手が滑って、けがの原因になります。



本体のグリップ部を持って、前後左右に強く押したり引いたり乱暴に扱わないこと

浴槽が破損する原因になります。



塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている浴槽には使用しないこと

製品が劣化する原因になります。

※通常の水道水では問題ありません。

●お手入れ・保管時の注意●

45℃以上では使用しないこと

ゴムシートがはがれやすくなります。

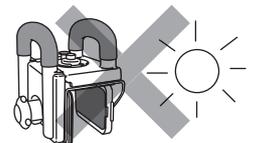
火気に近づけないこと

火災や変形の原因になります。



屋外に放置したり、直射日光に当てないこと

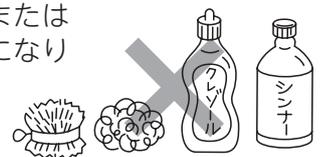
変形やソリ・ひび割れの原因になります。



お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと

プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



アルコール以外で消毒しないこと

変形や劣化の原因になります。

取り付け前のご確認

この製品は取り付けできる浴槽と、取り付けできない浴槽があります。
必ず **取り付けできる浴槽** に取り付けてください。

取り付けできない浴槽に無理に取り付けた場合

- 手すりが外れてバランスを崩して、転倒やケガの原因になります。
- 浴槽の変形、破損の原因になります。

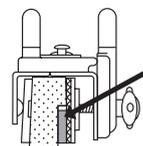
取り付けできる浴槽 (全て満たすこと)

取り付けできない浴槽

浴槽の形状	<p>●浴槽上縁部が平らな浴槽</p>	<p>●浴槽上縁部に段差や傾斜のある浴槽</p>
	<p>●浴槽の壁厚が 4.5~13cm</p>	<p>●条件外の壁厚の浴槽</p> <p>薄すぎる浴槽</p> <p>厚すぎる浴槽</p>
	<p>●直線部分がある浴槽</p>	<p>●湾曲の大きい浴槽、または部位(コーナー部)</p> <p>すべて湾曲面</p>
	<p>●傾斜が少ない浴槽</p> <p>傾斜が5°以下の浴槽</p>	<p>●傾斜がきつい浴槽</p>
浴槽の材質	<p>●FRP、ステンレス製、ホーローの浴槽</p> <p>FRP ステンレス、ホーロー</p>	<p>●木製や大理石の浴槽</p> <p>●著しく劣化した浴槽</p> <p>内側がぬめる、著しくすべりやすい浴槽には取り付けできません。 表面にざらつきや細かなヒビ割れがある浴槽には取り付けできません。</p>
	浴槽壁の強度	<p>●右記のタイプは浴槽壁の強度が足りず、取り付けできません。</p> <p>●上記の浴槽で、強度に不安がある場合(指で押すとたわむ等)は、浴槽壁を補強してください。</p> <p>壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、洗い場側に両面テープ(木板外周全て)で貼りつけてください。</p>
<p>●タイル張りで、浴槽壁内部が空洞の浴槽</p> <p>※天面・側面がタイル張りの場合は、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。</p>		

付属品等を使って取り付けできる浴槽

上表の「取り付けできる浴槽」の条件を満たした上で、右図のような縁の下部に段差のある浴槽は、必ず段差を埋めて、取り付けを行ってください。



段差補正板(付属品)や市販のゴム板・木板

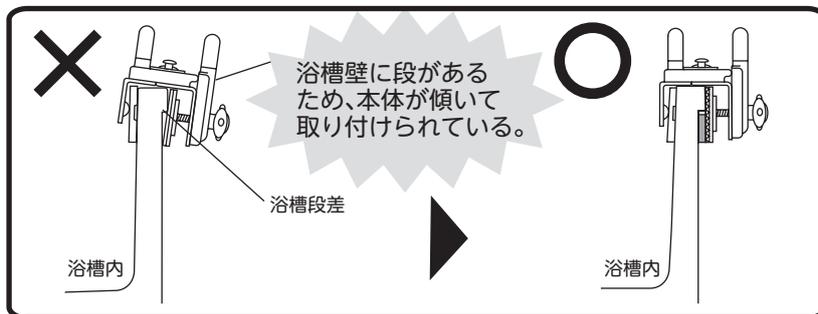
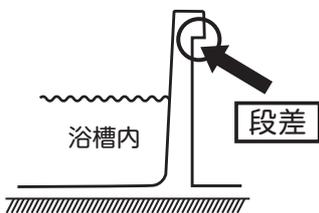
❗ 詳しい取り付け方法は、取り付けかたの次のページを参照してください。

取り付け前のご確認

段差補正が必要な場合

浴槽の外側に図のような段差がある場合、段差を補正すると取り付けることができます。

縁に段差のある浴槽



浴槽の縁に段差がある場合は、段差の大きさに合わせた補正方法に従って、補正をしてください。

浴槽壁の形状	段差	リム高さ	段差の補正方法	補正の板								
	1.5cm以下	4cm未満	浴槽手すり本体のゴムシート部下端に合わせた位置に、段差補正板を貼り付けます。 	●段差補正板3枚【付属品】 (16cm×6cm×厚さ5mm) <table border="1"> <thead> <tr> <th>段差厚 (cm)</th> <th>段差補正板必要枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5</td> <td>1枚</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>2枚</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>3枚</td> </tr> </tbody> </table>	段差厚 (cm)	段差補正板必要枚数	0.5	1枚	1.0	2枚	1.5	3枚
		段差厚 (cm)	段差補正板必要枚数									
0.5	1枚											
1.0	2枚											
1.5	3枚											
4cm以上	リム下端に接する位置へ、段差補正板を貼り付けます。 											
(浴槽内)	1.6cm以上	—	段差に合わせた厚みの木板または硬いゴム板を別途ご用意いただき、取り付けてください。 木板や硬いゴム板 段差補正板と木板・ゴム板を併用する場合 	●木板または硬いゴム板【別途ご用意ください】 								

段差補正を行うときは、しっかり固定するために、必ず以下に従うこと

段差補正板や木板・ゴム板は必ず洗い場側へ取り付けること

段差と段差補正板・木板・ゴム板の寸法はできる限り合わせること
 完全に寸法が合わない場合、段差補正板等が浴槽の段差よりはみ出さないようすること。

段差補正板・木板・ゴム板は必ずテープで固定すること
 万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残ったのりをきれいに取り除き、市販の強力な両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

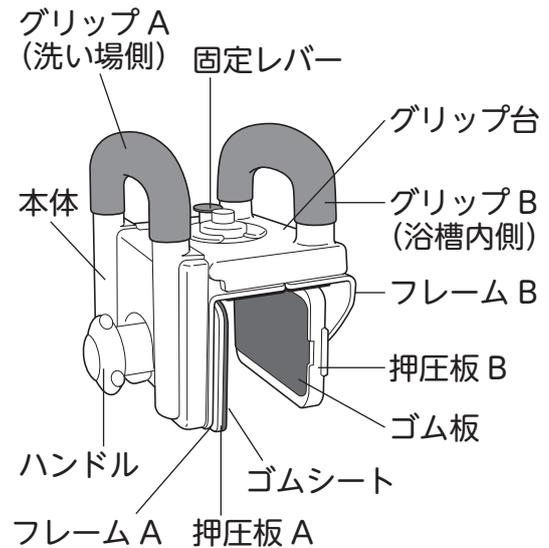
木板やゴム板にぬめりや反りが出たら、交換すること



各部のなまえ

■仕様

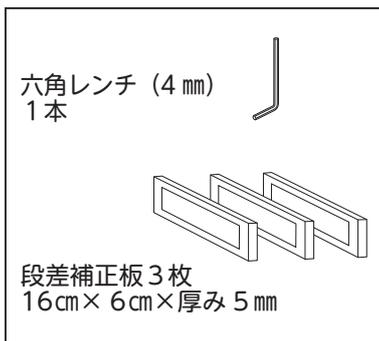
	部品名	材質
構成 部品	本体、グリップ台、 ハンドル、固定レバー	ポリプロピレン
	グリップ部、ゴム板	エラストマー
	フレーム	ステンレス
	軸、ネジスリーブ	黄銅
	ゴムシート	エチレンプロピレンゴム
	段差補正板	ポリエチレン
サイズ	18 × 19 ~ 25 × 高さ 22 cm 手すり部高さ (浴槽縁より) 11 cm	
重量	約 4 kg	



廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

■付属品



特長

- 高い縁の据置き式浴槽をまたぎやすくする 2 本の平行グリップにより、両手で姿勢を保ち、安定して浴槽をまたげます。
- 高さの低いグリップを持つと、自然と頭が下がりがり足が上げやすくなります。
- 取り付けたまま風呂フタができます。
- 卵型 (断面形状) の持ちやすいグリップ形状。
- グリップ部はソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材(エラストマー)を使用。
- グリップカラーには、湯気の中でも見やすい赤色を採用。
- 締めつけやすい形状のハンドル。
- 浴槽壁に接する部分には滑り止めと、浴槽保護のためゴムシートを使用。
- 押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。

取り付けかた

- 取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け、取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。高齢の力の弱い方が行くと、しっかり取り付けられない可能性があります。
- 取り付ける前にP.3～4の「取り付ける前のご確認」をよくご確認ください。判断がつかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。
- 初めて取り付けたときや、浴槽から製品を取り外して再度取り付けを行ったときは、必ずしっかり取り付いてガタつきがないか点検してください。

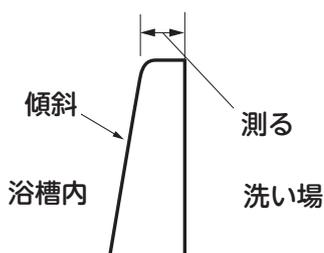
フィッティング(高さ設定など)や取り付け位置は、使う方の体格や入浴動作をしやすいよう、お買い上げの販売店やケアマネジャー等の専門家に相談することをおすすめします。



製品を取り付ける前に以下の手順を行ってください。

浴槽手すりを取り付ける位置を決める

- 1 取り付け可能な浴槽の壁厚は 4.5 ～ 13 cm です。
- 2 取り付け面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 3 浴槽壁の厚みを測ってください。浴槽内壁に傾斜があるときはその数値に + 0.5 cm してください。



(例) 7.5 cm の場合

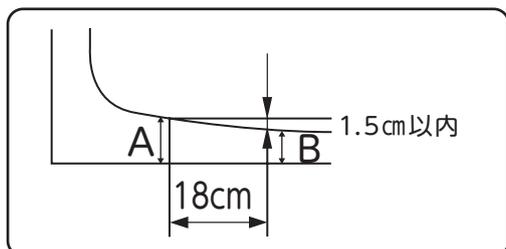
傾斜があるとき
 $7.5 + 0.5 = 8.0$ cm

傾斜がないとき
7.5 cm

8.0 cm は範囲②

7.5 cm は範囲①

- 端に寄せて取り付ける場合は、BとAの差が 1.5cm 以内であることを確認してください。



縁の下部に段差がある浴槽は、段差を埋めてください。



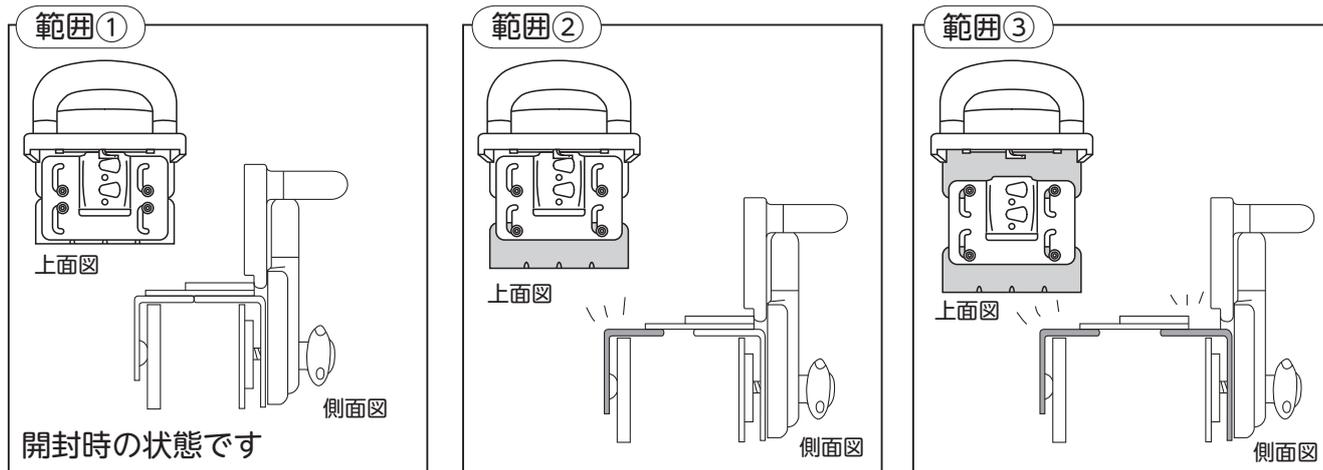
詳しくは…4 ページへ

取り付けかた

4 ①～③の適合する範囲を確認してください。

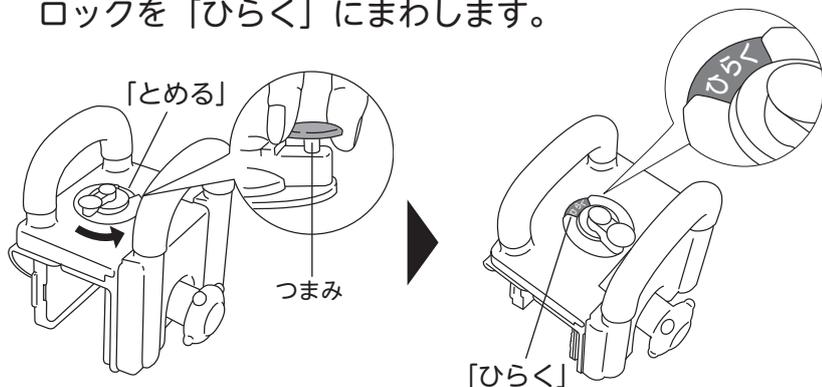
範囲①	4.5 ~ 7 cm
範囲②	7.1 ~ 10 cm
範囲③	10.1 ~ 13 cm

5 下図の通りに、フレーム幅を調節してください。

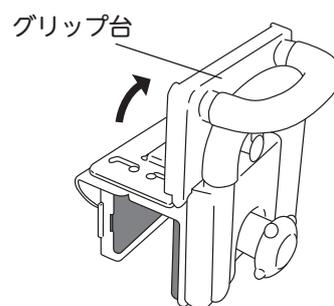


●フレーム幅の調節方法

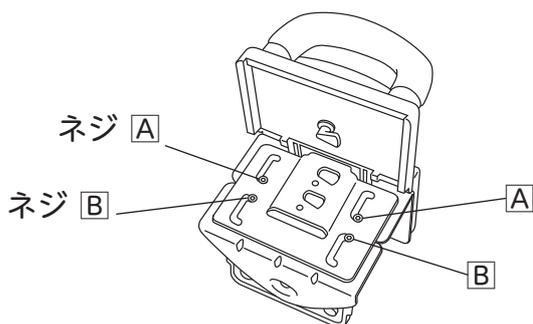
(1) つまみを上に引き上げながら
ロックを「ひらく」にまわします。



(2) グリップ台をひらきます。



(3) 付属の六角レンチでネジをゆるめます。
(出荷時は範囲①の状態です)



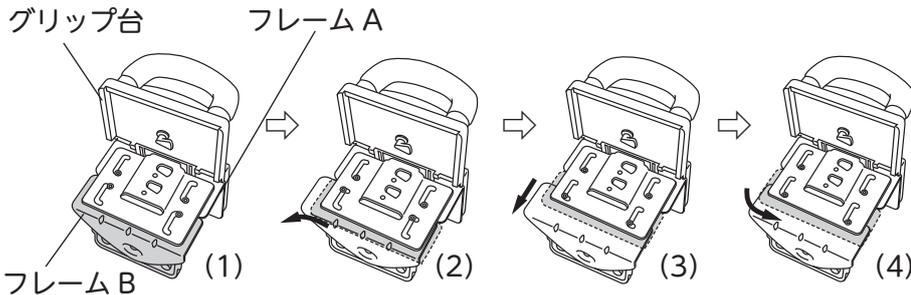
範囲①の場合	不要 (ネジのしめつけを確認ください。)
範囲②の場合	A のネジ 2 本をゆるめます
範囲③の場合	A/B のネジ 4 本をゆるめます

注意

グリップ台を開けるとき、または、閉めるときには、指をはさまないように十分注意して行うこと

取り付けかた

(4) フレーム B を下図のようにスライドさせ、しっかりとネジをしめます。(範囲②の場合)

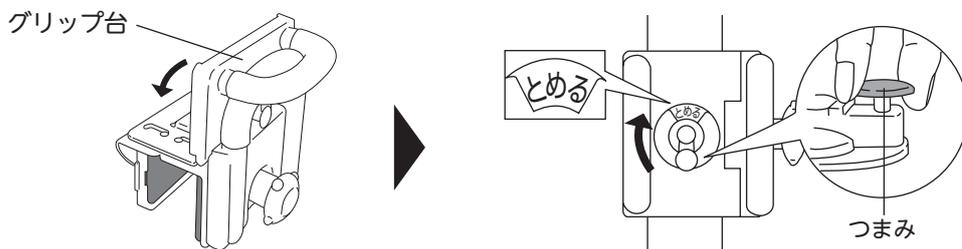


※範囲③の場合は、同様にフレーム A もスライドさせます。

注意

- (4) のとき、最後の当たりを感じるころまでしっかりとスライドさせてネジをしめつけてください。グリップ台が閉まらない場合があります。
- ネジが確実にしまったか確認してください。

(5) グリップ台をとじ、ロックを「とめる」にまわします。

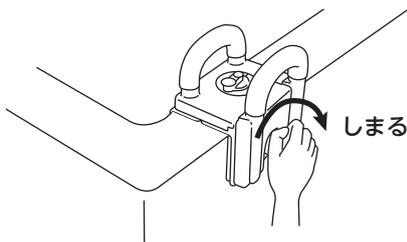


6 ハンドルが洗い場側に向くように取り付けます。



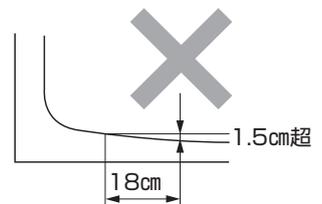
7 浴槽壁のできる限り端に図のようにセットし、ハンドルを右に回して取り付けます。

※しめつけ具合はグリップを握り、左右に動かない程度を目安としてください。またフレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか確認してください。



注意

浴槽壁厚の差が約 1.5cm を超える場所には取り付けないこと
本品が浴槽から外れ、転倒し、けがの原因になります。



注意

ハンドルを必要以上にしめつけないこと

浴槽が変形、または破損する原因になります。(タイル壁面の場合は、タイルが破損することがあります。)



正しくセットされていることの確認

しめつけが弱くグラツキはないか。

- 浴槽の壁厚が 4.5 ~ 13 cm であるか。
- 段がある浴槽壁で傾いて取り付けられていないか。
- 浴槽壁が弱く変形していないか。変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。

かるくゆらして確認



使いかた

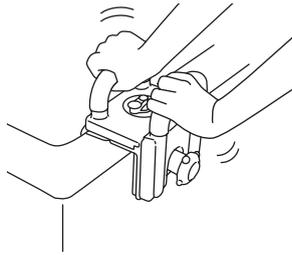
使用する前に確認してください

- 毎回使用前には必ず本品およびグリップ台が、しっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。
- 洗剤が手やグリップに付着していると、滑りやすくなりけがをする恐れがありますので、きれいに洗ってからご使用ください。

ネジやハンドルがゆるんでいないか、浴槽との間にすき間がないか、確認してください。

確認方法

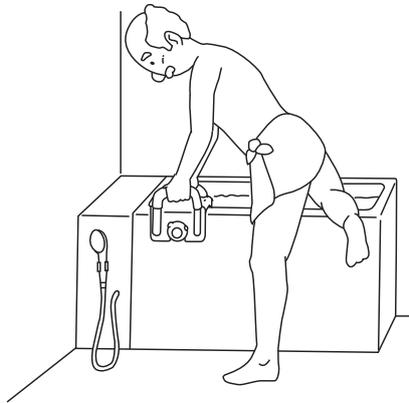
製品を前後左右にかるくゆらし、
ガタつきがないか確認する



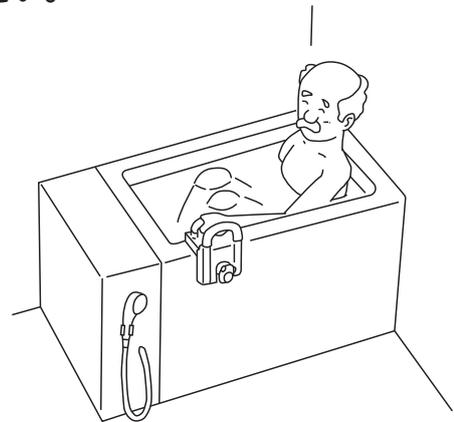
ガタつき、すき間がある場合は、製品を取り外し、再度、すき間がないよう取り付けてください

※上記の対応でガタつきやずれが直らない場合は、P.10・11を確認し、それぞれ対応してください。

- 1 グリップを両手で握り、浴槽側の足からゆっくりと浴槽内に移します。



- 2 グリップを持って、静かにお湯につかってください。



- 3 浴槽から出るときは、入るときとの逆の手順で行ってください。

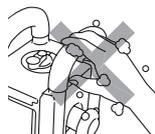
※動作は身体の安定を確認しながらゆっくりと行ってください。



注意

石鹸や洗剤が付着した手で使用しないこと

手が滑り、けがの原因になります。



本体のグリップ部を持って、前後左右に強く押したり引いたり乱暴に扱わないこと

浴槽が破損する原因になります。



温泉水や、入浴剤は使用しないこと

製品が劣化する原因になります。

体重が 80 kg を超える方は使用しないこと

本品が外れたり、破損しけがの原因になります。



お手入れの方法

お掃除のしかた

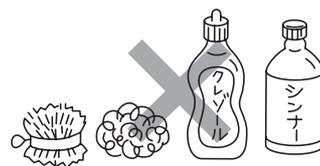
- 中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。



注意

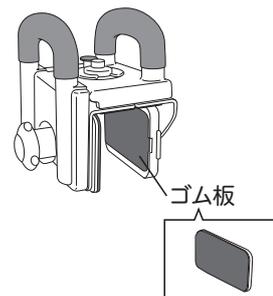
※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー・クレゾール等は絶対に使用しないこと

プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



交換部品 (消耗品)

- 押圧板のゴム板に、汚れや変形、破損（裏面凸部 がちぎれる等）などの劣化があれば、お買い求めになった販売 店にお問合わせの上ご購入し、交換してください。



点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスを行ってください。

毎回の点検 (必ず行うこと)

お手入れして取り付けた後や、ご使用になる前に本品がしっかりと浴槽に固定されているかを確認してください。

- ① ハンドルがゆるんでいれば、しめなおしてください。
- ② 浴槽との間にすき間があれば、製品を取り外し、浴槽へ再度取り付け、しっかり固定してください。
- ③ 取り付け面や製品にヌメリがないようにしてください。

確認方法

製品を前後左右に軽くゆらして、ゆるんでいないかを確認。



しっかり固定

しめる

ハンドル

上記を行ってもガタつく場合は…11ページへ

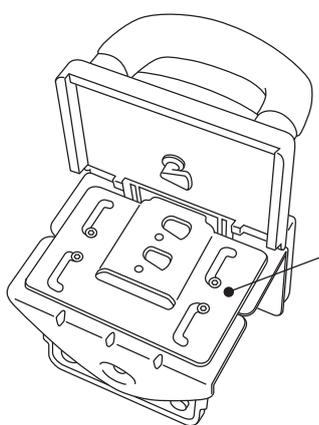
お手入れの方法

異常時の点検

ガタつきが毎回の点検で直らない場合、以下をご確認ください。

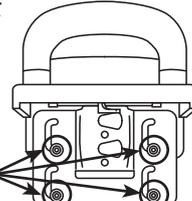
下記の対応でガタつきが直らない場合はただちに使用を止め、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

①以下を点検してください。



ネジがゆるんでいませんか？（4ヶ所）

※グリップ台を開ける

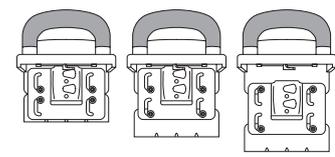


4ヶ所

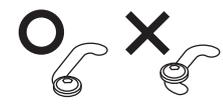
→ しっかりしめる

ネジやスライド板がずれた状態でしめられていませんか？

正しい位置



→ 最後までスライドしてから固定する



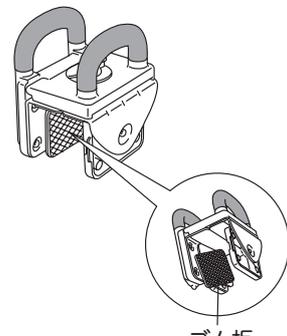
詳しくは…7ページへ

②ゴム板やゴムシートがめくれている場合は、以下の対応をしてください。

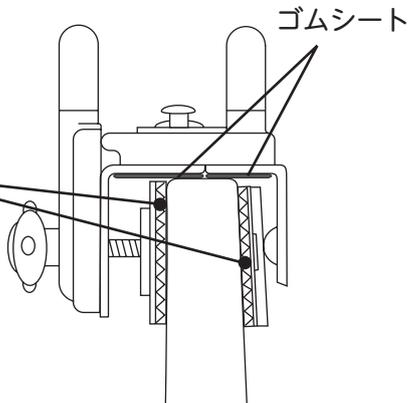
ゴム板がめくれていませんか？

ゴム板の裏面4ヶ所の凸部を押圧板凹部4ヶ所にはめ込んでください。

ゴム板の凸部が破損するなどしてはめられない場合は使用を中止し、新しいゴム板に交換してください。



ゴム板



ゴムシート

ゴムシートがはがれた場合は、本体やゴムシートに残った「のり」をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでゴムシートを貼り直してから使用してください。

おかしいな?と思ったら

Q.1 浴槽に取り付け後、浴槽手すりがガタつきます。



A. P.10「毎回の点検」、P.11「異常時の点検」を確認し、対処してください。

Q.2 グリップ部分に白点があります。



A. 本品のグリップ部は手触り感を良くし、さらに安全のため、使用時に滑りにくいよう、特殊な方法で製造しております。そのため、部分的に白点がありますが、品質上何ら問題はありませんので安心してご使用ください。

その他、

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書(取扱説明書)を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の

月～金 9:00～17:00

(12:00～13:00 は除く)